

アグアスだより

2014年11月号

進路説明会を開催して

10月18日（土）学校公開日の5校時に進路説明会を開催しましたところ、中学部保護者の皆様に多数ご参加いただきました。本当にありがとうございました。

アグアスカリエンテス市は、近年日系企業の進出が著しく、それに伴い本校の児童・生徒数も増加の傾向にあります。こういった状況の中で、中学部生徒も増加し、保護者の皆様の中から、「進路のことが心配」とのご意見が多数寄せられるようになりました。中でも、初めての受験生をお持ちの保護者の皆様は、特に不安を抱えていらっしゃることであります。そこで、このような声を受け、今年度より進路説明会を開催することにいたしました。

説明会当日は、メキシコでの進学と日本での進学に分けて説明いたしました。前半のメキシコの高校の説明では、設備のすばらしさに感嘆の声が上がり、後半の日本の高校の説明では、調査書（特に実技教科）の扱いに驚きの声（これは、同席した中学部生徒の声が大きかったです）が上がっておりました。

予定時間を大幅に超過してしまい、駆け足の説明になってしまったため、不十分な点多々あったかと思えます。もし進路面で、今後疑問点等ございましたら、いつでもお気軽にご相談ください。今後も、保護者の皆様のニーズにお応えできるようにしていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。（進路指導主任 真次秀一）

学習発表会に込められた思い

「この日本祭を、アグアスで頑張っている人たちが互いに励まし合い、明日からの活力を得られるような会にしたい」

こちらに赴任した年、受け入れでお世話になった先生が話してくれた言葉です。

赴任1年目、幼い子どもを連れての渡墨に不安を感じていました。案の定、息子が原因不明の高熱や嘔吐を繰り返した時は、どうしたら良いのか分からず、親としての無力さを痛感しました。その時、たまたま出くわしたその先生家族が、夜遅くまで病院に付き添い、通訳をし、薬の購入までしてくれました。

ここアグアスで支え合い、励まし合いながら暮らしている私達。皆様が同じ空間に集い、楽しい時間を共有できたら、それは本当に素晴らしいことです。

これまで様々な形で学習発表会が開催されてきました。しかしそこに込められた思いは変わっていないのではないのでしょうか。

日本を離れ、ここアグアスで暮らしている皆様、この学習発表会で、生き生きと頑張っている子どもたちの姿を見てください。心の込もった子どもたちの歌声は、皆様の心に大きく響くことでしょう。出演される方々は、日頃の成果を地域の方々や子どもたちの前で力いっぱい発表してください。

そして縁あってこのアグアスカリエンテスで生活している皆様が、この会を通して、より絆を深め、明日への活力をもらって帰っていただければと願っております。

（文化部長 田中丈仁）

全員制作モザイク画（学習発表会）

今年度も学習発表会でモザイク画に取り組みます。今回の原画はメキシコ壁画界の巨匠ディエゴ リベラの作品「アラメダ公園の日曜の午後の夢」です。メキシコシティにはこの壁画のためだけの美術館もあるほどなのですが、ご存知ない方もいらっしゃるかと思いますので、紹介させていただきます。

この壁画はとても大きいため、今回はその中心部分だけを作品にします。その作品の中でも真ん中にあるのが派手な格好をした女性の骸骨。彼女の名前はカトリーナと言います。版画家のグアダルルーペ・ポサダ（アグアス出身）が当時の上流階級を風刺して描いた骸骨です。カトリーナはカトリン（catrín＝しゃれもの、気取り屋）の女性形で派手な格好をした上流階級への嫌味「上流階級の人も死んでしまえば皆同じ」を表します。11月の死者の日になると街中に頻出します。カトリーナと手をつないでいるのが、ディエゴ・リベラ本人の少年時代のようなのです。

この壁画は、児童生徒全員で取り組む唯一の作品となります。会場でぜひ遠くからご覧いただければと思います。ご期待ください。
（美術科 國枝渉）



11月行事予定

- 1日（土）実力テスト（中3）
- 5日（水）委員会、クラブ
- 7日（金）学習発表会準備
- 9日（日）学習発表会、日本祭、
展示説明会
- 10日（月）学習発表会振替休日
- 12日（水）クラブ
- 14日（金）遠足（小）
- 17日（月）革命記念日（休業日）
- 19日（水）クラブ
- 21日（金）期末テスト（中、～24日）
- 24日（月）カレーの日
- 25日（火）社会科見学（小5、日産）
職場体験学習（中2、日産）
- 26日（水）クラブ
- 28日（金）ファイターズ
- 29日（土）実力テスト（中3）

- ・ 10月28日（火）の下校後に、校舎内の害虫駆除を行いましたので、ご報告いたします。
- ・ 学校内は、学習発表会モード一色となっております。中休みも昼休みも、入れ替わり立ち替わりどこかの学年がパート練習をしている状態です。最初はどうでもできなかった子どもたちが、気持ちを切り替え、励まし合って、できるようになっていく、そんな子どもたちの姿を見ると、「行事を通して子どもたちは伸びる」「行事を通して子どもたちを伸ばしたい」という思いを新たにしています。
保護者の皆様、ぜひ子どもたちの練習の成果をご覧いただけたらと思います。そして、発表の裏に隠れた子どもたちの思いもぜひ感じ取っていただけたら幸いです。